

## 目標達成計画

作成日: 2022年12月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議の地域代表は自治会連合会会長・民生委員・元民生委員であるが、同時に法人の理事・評議員等の役にもあり、入居者家族と地域包括支援センター職員以外は、すべて法人関係者で構成されている。	関係者以外の地域代表の参加。	近隣住民の方の挨拶にまわりグループホーム昭和を知ってもらい運営推進会議へ参加の協力をしていただく。	10ヶ月
2	6	勉強会で学んだことの実践状況について、振り返りを継続する。	職員の意識の更なる向上。	実践状況を振り返れるように毎日の業務日報の中に内容も記入する。	1ヶ月
3	23	学んだことを介護現場で実践し、気づいたことなどは職員同士で話し合う機会を重ねること。	更なる入居者本位の支援。	毎日の朝礼の申し送りの中で勉強会で学んだことの実践状況を報告。	1ヶ月
4	40	冷凍を温めた食事に季節の配慮。	食事が楽しみなものになるような食事提供。	食事前にメニューの説明と現在の日にちも伝えて季節を認識していただく。	1ヶ月
5	54	心地よい住み心地へ配慮する工夫。	入居者が居心地よく過ごせる居室の提供。	本人や家族と相談しながら使い慣れたものや好みのものを活かしたり音楽なども流す。	1ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。